

2026年7月2日

報道関係者各位

計3枚

国際基督教大学がキャンパス内に 日本の大学で初の「サイクルリペアステーション」を設置

～持続可能で誰もが安心して生活できるキャンパスの実現と相互支援の文化を育む新インフラ～



国際基督教大学（東京都三鷹市、学長：岩切正一郎）は、2026年5月27日、「サイクルリペアステーション」をキャンパス内に設置いたしました。日本の大学キャンパスにおける常設型サイクルリペアステーションとしては先駆的な取り組みです（本学調べ）。

本プロジェクトは、本学教員のチャン、クリスチャン 教授が発案し、日本国際基督教大学財団（Japan ICU Foundation; JICUF）の助成金サポートを受けて実現したものです。学内における自転車利用の利便性向上だけでなく、利用者が自らメンテナンスを行う技術の習得、資源の適正管理、そして車いす利用者を含む多様なコミュニティメンバーの移動を支えるインクルーシブな環境づくりを目的としています。また、SDGs 目標3（すべての人に健康と福祉を）、目標11（住み続けられるまちづくりを）、目標12（つくる責任つかう責任）、目標13（気候変動に具体的な対策を）の実現にも貢献する取り組みです。

■ 導入の背景と目的

1. 学内の課題と海外大学の先進事例

ICUは広大なキャンパスを持つため、多くの学生や教職員が日常的な移動手段として自転車を利用しています。しかし、これまで日常的なメンテナンスや簡単な修理を気軽に行える場所がありませんでした。一方、海外の高等教育機関（米国のスタンフォード大学やミシガン大学、英国のランカスター大学など）では、自由に利用できるサイクルリペアステーションが一般的なインフラとして広く普及しており、持続可能なキャンパスを支える重要な存在となっています。



問い合わせ先：

国際基督教大学 (ICU) パブリックリレーションズ・オフィス（担当：小瀧、森川、吉良）
Tel : 0422-33-3040 / Fax : 0422-33-3355 / E-mail : pro@icu.ac.jp

2. 持続可能性（サステナビリティ）とモビリティ・インクルージョン

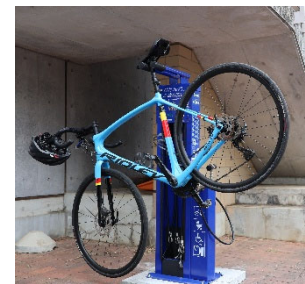
自転車は環境負荷の少ないクリーンな移動手段ですが、適切な工具やメンテナンス知識へのアクセスが不足していると、自転車の寿命を縮めたり、利用継続を断念させたりする要因となります。また、自転車同様、車いすのタイヤもメンテナンスが必要です。本プロジェクトでは、車いす利用者を含む、すべてのコミュニティメンバーが安心して移動できるインクルーシブな環境（モビリティ・インクルージョン）の実現も重要な課題として捉えています。

3. 自立心と相互支援の文化醸成

単なる修理設備の設置に留まらず、教育的アプローチ（ワークショップ）を組み合わせることで、利用者が基本的なメンテナンス技術を身につけ、自ら問題を解決できる「自立心（Self-reliance）」を養うことを目指します。同時に、資源を長く大切に使う意識や、コミュニティ内での相互支援の文化を育むことを意図しています。

■ サイクルリペアステーションの仕様・特徴

今回、日本の大学として初めて導入されたパブリックリペアステーションは、ヨーロッパを中心に国内外の公共スペースで高い実績を持つポーランドのIBOMBO社製品を採用しています。



導入製品	IBOMBO 社製パブリックリペアステーション（正規輸入代理店 All Bikes Japan）
主な機能・装備	<ul style="list-style-type: none"> 各種工具（プラス/マイナスドライバー、スパナ、ヘックスレンチセット、アジャスタブルスパナ、タイヤレバーなど。本体からステンレス製ロープで吊り下げ） 高性能ハンドポンプ（米式・仏式・英式の各バルブに対応、電源不要で自立運用可能。車いすにも使用可能） 自転車を掛けて修理しやすくするハンガー・スタンド構造 QRコードによるオンライン修理マニュアル・動画へのアクセス機能
耐久性・防犯性	亜鉛メッキおよび特殊コーティングを施したスチール製。工具の不正な分解や盗難を防ぐための特殊ネジ・ナットを採用した高耐久セキュリティ設計。
助成・サポート	日本国際基督教大学財団（JICUF）助成金プロジェクト

問い合わせ先：

国際基督教大学（ICU）パブリックリレーションズ・オフィス（担当：小瀧、森川、吉良）
Tel：0422-33-3040/Fax：0422-33-3355/E-mail：pro@icu.ac.jp

■ これまでの実績と今後の展望

設備をただ設置して終わりにするのではなく、教育やコミュニティづくりの場として機能させるため、大学公認団体である ICU サイクリング部主催の自転車メンテナンスに関する学内ワークショップを計 4 回開催いたしました。また、SDGs 推進室の自転車班（サイクリンダー）主導のもと、2026 年 3 月と 4 月に卒業生から後輩へ渡す自転車を譲渡する「自転車譲渡会」も開催され、学内での資源循環を促進しています。

今後は、秋の新入学生（9 月入学）に合わせ、外部の専門団体や地域社会と連携したさらに実践的なワークショップの開催を予定しています。ICU はこれからも、ICU の誰もが安心して生活できるキャンパスづくりの構築を多角的に推進してまいります。



問い合わせ先：

国際基督教大学 (ICU) パブリックリレーションズ・オフィス（担当：小瀧、森川、吉良）

Tel : 0422-33-3040 / Fax : 0422-33-3355 / E-mail : pro@icu.ac.jp